



日本形成外科手術手技学会

News Letter

第12号 2017年4月1日発行

発行 日本形成外科手術手技学会 事務局

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12

新宿ラムダックスビル 4階 春恒社内

TEL: 03-5291-6231

FAX: 03-5291-2176

— 目次 —

- * 理事長からのご挨拶
- * 第22回 日本形成外科手術手技学会 印象記
- * 第23回 日本形成外科手術手技学会 お知らせ

理事長からのご挨拶

日本形成外科手術手技学会
理事長 朝戸 裕貴

本学会は形成外科にとって最も重要な「手術手技」に焦点をあてた学会であります。毎年の学術集会では、他の学会では聞けない手術のコツや工夫などについて、若手医師からベテラン医師まで活発な討論が行われています。本年もさる2月18日土曜日に東京大田区の大田区産業プラザ PiO において、東邦大学医学部形成外科学教授の大西清会長のもとで、第22回の日本形成外科手術手技学会が開催され、非常に内容の充実した学術集会でありました。

一方形成外科の手術手技に焦点を当てた全国版カンファレンスともいべき本学会の会員数が、いまだ400名前後にとどまっていることは不思議であります。私は理事長就任以来、本来もっと会員数が増えてしかるべきものと考え、会員数増加による本会発展の道を探ってまいりました。その結果ひとつの方策として、学術集会を年2回開催することが学会の活性化につながると考えました。会員の皆様にとっても、プログラム抄録集が年2回事前送付されるだけでも年会費分(5000円)のメリットがあります。そこで昨年続き本年の理事会においても年2回開催の議案を提出しました。種々の意見が交わされた結果、本学会活性化に向けて新たに「企画委員会」を設置し、会員数増加のための検討を行うこととなりました。

本年中には委員会の議論を経て理事の皆様方に学会活性化案を提示し、翌年の学術集会時には一定の結論を得たいと考えております。会員の皆様におかれましても、本学会の発展に向けた意見を広く募集したいと思いますので、遠慮なくご意見を事務局までお寄せいただけますようお願い申し上げます。

2017年3月末日

第22回 日本形成外科手術手技学会 印象記

会長 大西 清（東邦大学医学部形成外科）

第22回日本形成外科手術手技学会を東邦大学医学部形成外科で担当させていただきましたこと、教室を代表して感謝申し上げます。2017年2月18日(土)に、大田区産業プラザPiOにて開催いたしました。この学会は、1996年に「形成外科内視鏡手術研究会」という名称で創設され、第1回研究会が恩師 丸山 優会長の下で開催されました。その様な経緯から、第22回会長にご推挙いただき大変光栄に存じます。会員の皆様には、1日での開催にもかかわらず遠方からもお越しいただき、250名を超える参加登録のもとに、盛会裡に終了することができました。

第22回の本会は、昨年のテーマであった「成功する手術」の次ということで、「Ideas and Innovations ワンランク上を目指して」というテーマを掲げ、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題（口演およびポスター）、ランチョンセミナーを企画しました。新しい手術法や手術のデザインを考えることは苦しいことですが、ある意味楽しいことでもあります。皆様の沢山の創意工夫を大変興味深く、また楽しく拝聴させていただきました。

特別講演は、小泉 誠先生（Koizumi Studio 代表・武蔵野美術大学空間演出デザイン学科教授）にお願いしました。先生の独自の発想から、デザインの考え方やコツ、工夫など、実際の事例を交えお聞きしました。大変好評なご講演でした。教育講演は2題企画しました。医療問題をご専門とする弁護士の高田 覚先生（仁邦法律事務所）には、医療安全、特に医療事故の法的責任に関するお話をさせていただきました。また、会場は蒲田というローカルな場所ですが、一昨年流行った「下町ロケット」発祥の地でもあり多くの職人さんの集う町です。大田区ではこの匠の技を取り入れた医工連携を推進しています。そこで、氏家 弘先生（東京労災病院副院長）と武田行生先生（東京工業大学大学院理工学研究科教授）に、医工連携に関するお話をお願いしました。医工連携から生み出される製品の開発や実用化など必要性は明らかですが、その前には大きな壁が立ちだかっていることが理解されました。ご講演いただきました先生方には改めて感謝を申し上げます。また同時に、大田区産業振興協会のご協力により、医療に関連した5企業の展示をいただきました。「下町ロケット2 ガウディ計画」刊行の元となった心臓の人工弁や顕微鏡モニターなど、興味ある製品を拝見できました。

シンポジウムはワンランク上の治療成績を目指す「よりきれいに正確に」をメインタイトルとし、「乳房再建」と「顔面神経麻痺」の2題を、パネルディスカッションは「安全な皮弁手術を行うために」と「NPWTの上手な使い方」の2題をセッションとしました。全ての会場で熱のこもった討論が行われていました。一般演題は口演63題、ポスター22題の登録をいただき、各セッションで活発な質疑応答が繰り返されていました。ポスター展示は初めての企画ですが、長時間にわたり多くの先生にご覧いただける発表です。今回のテーマである「Ideas and Innovations」に関する発表を中心に選ばせていただきました。ランチョンセミナーは「進化し続けるレーザー治療」、「リンパ浮腫の基礎と最新戦略」の2題を2社と共催しました。その他、企業展示15社、抄録集広告掲載14社の皆様からもご協力をいただき、この場をお借りして深く感謝申し上げます。学会終了後には、これも初めての試みですが、「寄り道」という名称で、短時間ですが立食での参加者懇親の場を設けました。最後まで多くの方楽しんでいただけたものと考えております。

当初、あっという間に1日が過ぎるような、楽しく有意義な学会にしたいと望んでおりました。実践できたと考えています。これもひとえに皆様のご支援ご協力の賜と、お礼申し上げます。ありがとうございました。

最後になりますが、タイトなタイムスケジュールでの開催となり、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことと存じます。お詫び申し上げますとともに、本学会の益々の発展を祈念し、私の印象記とさせていただきます。

第 23 回日本形成外科手術手技学会 お知らせ

会長 垣淵正男（兵庫医科大学形成外科）

第 23 回日本形成外科手術手技学会を兵庫医科大学形成外科学教室が担当させていただくことになり、会員の皆様に心より御礼申し上げます。

本学会は「第 3 回形成外科内視鏡手術研究会」を大森喜太郎先生が東京で、「第 6 回形成外科内視鏡・手術手技研究会」を小林誠一郎先生が岩手で、「第 14 回形成外科手術手技研究会」を細川互先生が大阪で主催されており、私がお指導いただきました先生方が学会発展の足跡を表すそれぞれの名称で開催された学会を、また新しい名称の「日本形成外科手術手技学会」として担当させていただけることをたいへん光栄に思います。

今回は、平成 30 年 2 月 10 日（土）に兵庫県尼崎市の「都ホテルニューアルカイク」で開催させていただきますが、この学会が兵庫県で開催されるのは初めてのことであり、関西の先生方を除くと会場のある尼崎市に来られたことのある方はほとんどいらっしゃらないのではないのでしょうか。

尼崎市は、私達の勤めております兵庫医科大学のある西側の西宮市とは、一級河川の武庫川を挟んだ対岸にあり、東側では大阪市にも隣接しております。江戸幕府が西国への備えとして譜代大名を配した尼崎城の城下町として、また昭和期には阪神工業地帯の中核都市として発展しました。現在は政令指定都市に次ぐ中核市に指定されており、昨年は市制 100 周年を迎えました。会場は大阪市内から阪神タイガースの親会社の阪神電車で 10 分程度の駅前であり、関西空港からのリムジンバスも同じ駅前に着きます。

今回の学会のテーマは第 21 回の「成功する手術」、第 22 回の「Ideas and Innovations ワンランク上を目指して」の後を受けまして「進化する手術」とさせていただきます。様々な要素を取り入れながら生き物のように進化し続ける形成外科の手術手技を、皆様とともに考える機会となれば幸いです。

特別講演には大阪大学国際医工情報センター臨床神経医学寄附研究部門の平田雅之先生をお招きして、脳の表面に置いた電極シートを用いたブレイン・マシン・インターフェイスによって障害者の方々の運動やコミュニケーションを可能にするという夢のようなご研究についてお話いただく予定です。そのほかに「手術手技」を冠する学会に相応しいプログラムは何かを考えさせていただき、第 19 回と第 20 回のビデオシンポジウムをもう少し拡大して取り入れさせていただこうと思います。また、「第 1 回日本形成外科学会小児形成外科分野指導医認定試験」も本学会中に行われる予定です。

当科は開設以来 10 年と少々はまだ若い教室ですが、教室員や同門会員一同、鋭意準備を進めております。一年の中で最も寒い時期のご移動になりますが、参加していただいた皆様のよき思い出となるような温かいおもてなしを心がけたいと思います。

多くの先生方にご参加いただけますようお願い申し上げます。

次年度以降の学会開催について

第 24 回日本形成外科手術手技学会

会 長：前川二郎（横浜市立大学形成外科教授）

日 程：2019 年（平成 31 年）2 月 23 日（土）

開催地：パシフィコ横浜

第 25 回日本形成外科手術手技学会

会 長：深水秀一（浜松医科大学形成外科）

日 程：2020 年（平成 32 年）2 月 8 日（土）

開催地：アクトシティ浜松コンベンションセンター